

2008年8月14日

各位

## ミスミグループ本社 2009年3月期 第1四半期 連結業績を発表

—売上高・営業利益ともに第1四半期として過去最高を計上—

株式会社ミスミグループ本社（本社：東京都江東区、社長：三枝匡）は本日、2009年3月期第1四半期（2008年4月1日～2008年6月30日）の連結業績を発表しました。

主な業績数値は以下の通りです。

	2008年3月期 第1四半期	2009年3月期 第1四半期	増減率
	百万円	百万円	%
売上高	29,895	32,039	+7.2
営業利益	3,952	4,040	+2.2
四半期純利益	2,635	2,302	△12.6
1株当たり四半期純利益	29.92円	25.99円	△13.1

2009年3月期 第1四半期の連結業績ハイライトは以下の通りです。

### 1. 売上高・営業利益は第1四半期として過去最高を更新

- 2009年3月期 第1四半期の売上高は320億円（前期比7.2%増）、営業利益は40億円（前期比2.2%増）、当期純利益は23億円（前期比12.6%減）となり、売上高・営業利益は第1四半期として過去最高を計上しました。なお、四半期純利益は昨年度に比べて税効果会計の影響により税負担率が増え、減益となりました。
- 当第1四半期は、原油・資源価格の高騰、住宅金融問題に端を発した米国金融市場の混乱などの影響により、世界的に厳しい景況感の中で推移しました。機械製造業界においては、国内の機械受注統計は4月～5月でマイナスに転じ、また、日本工作機械工業会の受注額も08年1～6月で前年比0.4%増と拡大にブレーキがかかるなど、先行きに不透明感が強まっています。
- このような状況の中、当社グループは継続的な新商品の開発、顧客ニーズに基づくプライスダウン、タイムリーな新規カタログ発行、インターネット販売用ウェブサイトの充実化等による積極的な販売促進策を展開する一方、顧客の求める短納期化ニーズに応える施策を国内外で進め、売上高、営業利益は第1四半期として過去最高を計上するなど、安定した成長を継続することが出来ました。

### 2. 自動化事業が大幅増収、他のセグメントも堅調に推移

- 2009年3月期 第1四半期の事業部門別売上高は、自動化事業で前期比18.8%増の170億円、金型部品事業で0.1%増の82億円、エレクトロニクス事業で0.1%減の30億円、光関連事業では8.6%減の12億円、多角化事業で15.2%減の24億円となりました。自動化事業はウェブ戦略の強化などにより大幅に増収したものの、光関連事業では不採算分野の整理、多角化事業では事業売却の影響でそれぞれ減収となりました。

### 3. 海外売上高比率 22.1%

- 当社は、海外において現地通貨・現地語カタログを7拠点で22種類発刊し、生産拠点は9拠点、物流拠点は7拠点へと拡大して製販一体のグローバル展開に積極的に取り組んできました。この結果、2009年3月期第1四半期の海外売上高は70億円となり、海外売上高比率は22.1%となりました。

### 4. 海外を中心に高成長を継続し、中間期・通期ともに期初の予想通り

- 引き続き景気の先行きは不透明であります。当社は海外事業の拡大などにより、2009年3月期第2四半期累計期間の業績予想は売上高635億円（前期比3.6%増）、営業利益83億（前期比1.9%増）、当期純利益は56億（0.6%増）、通期では、売上高1,360億円（前期比7.4%増）、営業利益168億円（前期比3.0%増）、当期純利益100億円（前期比3.1%増）と期初の予想通りの推移を見込んでおります。

（詳細は下記の表をご参照ください）。

#### 2009年3月期の業績予想（連結）（2008年4月1日～2009年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
第2四半期 連結累計期間	63,500	8,300	8,500	5,600	63.25
通 期	136,000	16,800	17,200	10,000	112.95

#### 【業績予想に関する留意事項】

この資料に掲載されている2009年3月期の見通し及び将来に関する記述部分につきましては、国内及び諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、当社及び当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願い致します。実際の業績は、様々な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える重要な要素には当社及び当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

2009年3月期第1四半期の当社連結業績の詳細は、決算短信をご参照ください。

この件に関するお問い合わせ  
株式会社ミスミグループ本社  
経営総務室 広報・IR担当  
Tel : 03-3647-7037 Fax : 03-3647-5802  
電子メール : cc@misumi.co.jp